

# 統一的な基準による地方公会計制度

～「見える」公会計から「分析・活用する」公会計へ～

## 研修目標

地方公会計の活用法について事例を交えて学ぶ

「統一的な基準による地方公会計」を前提に、複式簿記・財務諸表の種類や意味を理解した上で、今後の地方公会計の活用法について、事例を交えて学ぶ。

## 特徴PR

「統一的な基準」を中心とした実例の確認と活用

「統一的な基準」による貸借対照表、純資産変動計算書、資金収支計算書などの仕組みと作成方法や分析の考え方を学びます。実際の事例を確認することで、どのような分析・活用を図るのか、どのような影響を考える必要があるのかを理解します。

## 詳細

- \* 開催日 9月8日(月)/9日(火)
- \* 時間 1日目 9:30～17:00  
2日目 9:00～16:00
- \* 定員 20名
- \* 日数 2日
- \* 研修場所 道庁別館
- \* 対象者 会計・財政担当職員
- \* 研修方法 講義、演習

(注) 公営企業会計の内容は含まれていません

## 予定研修科目

- 1 新地方公会計制度の背景と概要
  - (1) 現行の財務書類の作成状況等 (2) 新地方公会計制度の背景
  - (3) 新地方公会計制度の考え方(企業会計的手法)
- 2 複式簿記の基本
  - (1) 会計処理一巡の手続 (2) 決算の手続
  - (3) 財務諸表の作成 (4) 現金主義と発生主義
- 3 財務書類の種類と概要
- 4 「統一的な基準」の説明
  - (1) 有形固定資産と売却可能資産 (2) 未収金・貸付金等
  - (3) 投資及び出資金等 (4) 退職手当引当金等
  - (5) 賞与等引当金 (6) 純資産の部 他
- 5 「統一的な基準」を中心とした実例の確認と活用について
  - (1) 財務書類の分析 (2) 実際の事例確認 (3) 財務書類等の有効活用

## 予定講師

中村 元彦 中村公認会計士事務所 所長 公認会計士

慶応義塾大学経済学部卒業後、1990年太田昭和監査法人(現・新日本有限責任監査法人)入所。2003年に独立、中村公認会計士事務所を開設。民間企業の会計監査を行う一方、地方公共団体の包括外部監査補助者を務める(東京都、埼玉県、福島県、さいたま市等)。日本公認会計士協会常務理事等を歴任。現在、千葉商科大学大学院会計ファイナンス研究科教授、青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科非常勤講師。

## 予定研修日程

※1日目と2日目の時間帯が異なりますのでご注意ください。

1日目	2日目
<p>9:30 開講・オリエンテーション 新地方公会計制度の背景と概要 複式簿記の基本 財務書類の種類と概要</p> <p>17:00 終了</p>	<p>9:00 開始 「統一的な基準」の説明 「統一的な基準」を中心とした実例の確認と活用について</p> <p>16:00～ 事後調査 閉講</p>

※研修の進め方、内容が変更になることもございますのでご了承ください。